

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公表番号】特表 2007-509903 (P2007-509903A)

【公表日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2007-015

【出願番号】特願 2006-537243 (P2006-537243)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/50 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

C 0 7 K 14/16 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 9/50

A 6 1 K 39/21

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 31/18

C 0 7 K 14/16 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 10 日 (2007.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 水不溶性のポリマーまたはコポリマーを含有するコア、および

(b) 親水性のポリマーまたはコポリマーおよびイオン性またはイオン化性である官能基を含有するシェル；

を含む微粒子であって、外表面に吸着された疾患関連抗原を有する微粒子。

【請求項 2】

疾患関連抗原が微生物抗原または癌関連抗原である、請求項 1 記載の微粒子。

【請求項 3】

水不溶性ポリマーがポリ(スチレン)である、請求項 1 または 2 記載の微粒子。

【請求項 4】

水不溶性ポリマーがポリ(メタクリル酸メチル)である、請求項 1 または 2 記載の微粒子。

。

【請求項 5】

親水性ポリマーがヘミスクシナート化ポリビニルアルコールである、請求項 1 ~ 4 いずれか記載の微粒子。

## 【請求項 6】

親水性コポリマーがEudragit (登録商標) L100-55 (メタクリル酸とアクリル酸エチルとのコポリマー)である、請求項 1 ~ 4 いずれか記載の微粒子。

## 【請求項 7】

該粒子が0.1 ~ 10  $\mu\text{m}$ の最大径を有する、請求項 1 ~ 6いずれか記載の微粒子。

## 【請求項 8】

抗原がヒト免疫不全ウイルス-1 (HIV-1)抗原である、請求項 1 ~ 7いずれか記載の微粒子。

## 【請求項 9】

抗原がHIV-1 Tat タンパク質 (配列番号：2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24、26、28、30 もしくは32)またはその免疫原性断片である、請求項 8 記載の微粒子。

## 【請求項 10】

(a) 1 種類以上の水不溶性モノマーを、1 種類以上の親水性ポリマーの存在下で分散重合により重合して微粒子を形成する工程；および

(b) 前記微粒子の外表面に疾患関連抗原を吸着させる工程を含む、請求項 1 ~ 9いずれか記載の微粒子の作製方法。

## 【請求項 11】

請求項 1 ~ 9 いずれか記載の微粒子および薬学的に許容され得る賦形剤を含有してなる医薬組成物。

## 【請求項 12】

治療または診断によるヒトまたは動物の身体の処置方法における使用のための、請求項 1 ~ 9いずれか記載の微粒子。

## 【請求項 13】

治療または診断によるヒトまたは動物の身体の処置方法における使用のための、請求項 11 記載の医薬組成物。

## 【請求項 14】

個体において免疫応答を生じさせるための医薬の製造のための請求項 1 ~ 9 いずれか記載の微粒子の使用。

## 【請求項 15】

HIV感染またはAIDSの予防または処置用の医薬の製造のための請求項 8 または 9 記載の微粒子の使用。